

企業によるアート取組の面的拡大に向けた基盤整備に関する実証事業



ART & BUSINESS AWARD 2026

アワードの目的

経済産業省は、企業がアート・アーティストとの共創を通じて新たな価値を創出し、経済社会とアート・アーティストそれぞれが持続的に発展するエコシステムの構築を目指しています。

その実現に向けて、共創の取組と経済的価値の創出をさらに加速させるため、共創の現場と経済的価値創出を巧みに結びつけたモデルとなる企業・プロジェクトを本アワードを通じて選出・表彰します。

本アワードは2025年に第1回を開催し、第2回を迎えます。

アドバイザーボード

※五十音順

アートとビジネスの共創において、アート側の視点・ビジネス側の視点、その共創などについて知見をお持ちの有識者の方々が、多角的な助言や審査等に携わります。



大林 剛郎

大林組 取締役会長 兼 取締役会議長
公益財団法人大林財団 理事長



片岡 真実

森美術館館長、国立アートリサーチセンター
エグゼクティブ・アドバイザー



塩見 有子

NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT]
ディレクター



寺瀬 由紀

アート・インテリジェンス・グローバル
Founding Partner



永田 暁彦

UntroD Capital Japan 代表取締役社長



日比野 克彦

東京藝術大学長



福武 英明

ベネッセホールディングス取締役会長
公益財団法人福武財団 理事長

応募カテゴリー

本年も5つのカテゴリーで受賞企業・プロジェクトを選出・表彰します。各カテゴリーにつき1件を表彰し、最終審査候補をファイナリストとして選出します。なお、今年度は、新たに「アートエンゲージメント」のカテゴリーを追加しました。

1



コーポレート・ストラテジー *Corporate Strategy*

アートの有する価値を活用して企業戦略・体制の構築、実行、発信など経営領域で新たな変化を起こした企業

2



アートコラボレーション *Art Collaboration*

アート・アーティストとの共創を通じて事業の高度化など新たな経済的価値を創出した企業・プロジェクト

3



ニューアートビジネス *New Business with Art*

アートを起点とした事業創造などを通じて新たなビジネスモデルを創出した企業・プロジェクト

4



ローカルインパクト *Local Impact*

地域特性を活かしたアートに関わる取組を通じて地域における経済的価値を創出した企業・プロジェクト

5



アートエンゲージメント *Art Engagement*

所有しているアート作品を活用し企業価値向上とともに日本のアートの発展に寄与した企業・プロジェクト

NEW

応募カテゴリー ①②



01 コーポレート・ストラテジー

Corporate Strategy

アートの有する価値を活用して企業戦略・体制の構築、実行、発信など経営領域で新たな変化を起こした企業

- ✓ アートの有する価値を活かした類を見ないユニークな取組か
- ✓ 経営レベルで目標・指標の設定を行い、企業内外に大きな変化をもたらしているか
- ✓ 単発ではなく継続的な取組となっているか
- ✓ ステークホルダーや社会に対して取組を発信できているか



02 アートコラボレーション

Art Collaboration

アート・アーティストとの共創を通じて事業の高度化など新たな経済的価値を創出した企業・プロジェクト

- ✓ アートの有する価値を活かした類を見ないユニークな取組か
- ✓ アーティストや関連団体・機関等との間にWin-Winの共創ができているか
- ✓ プロジェクトの経済的価値（既存事業の高度化、顧客との関係強化、新規顧客獲得等）
- ✓ 単発ではなく継続的な事業となっているか

応募カテゴリー ③④



03 ニューアートビジネス

New Business with Art

アートを起点とした事業創造などを通じて新たなビジネスモデルを創出した企業・プロジェクト

- ✓ アートの有する価値を活かした類を見ないユニークな取組か
- ✓ 事業としての新規性があるか
- ✓ プロジェクトの経済的価値（収益性、エンゲージメント〈参加者数、SNS等〉、将来性等）
- ✓ 単発ではなく継続的な事業となるための計画や構想があるか



04 ローカルインパクト

Local Impact

地域特性を活かしたアートに関わる取組を通じて地域における経済的価値を創出した企業・プロジェクト

- ✓ アートの有する価値を活かした類を見ないユニークな取組か
- ✓ 地域資源を活かした事業内容であるか
- ✓ 地域経済活性化に寄与しているか（新事業・新産業創出、雇用創出、観光客ほか関係人口の増加等）
- ✓ 単発ではなく継続的な事業となっているか

応募カテゴリー ⑤



05 アートエンゲージメント

Art Engagement

NEW

所有しているアート作品を活用し企業価値向上とともに日本のアートの発展に寄与した企業・プロジェクト

- ✓ 所有するアート作品を有効に活用しているか
- ✓ 企業価値向上につながっているか
- ✓ 日本のアート市場活性化や魅力発信など日本のアート界の発展に寄与しているか
- ✓ 事業・プロジェクトを対外的に発信しているか

応募条件・スケジュール

対象

日本国内に拠点を持つ企業・法人（外資系日本法人を含む）。
個人事業主・任意団体は対象外です。

プロジェクトの実施期間

事業の期間は問いません。

過去の応募・受賞歴

2025年（第1回）にエントリーされた企業・プロジェクトも
ご応募可能です。

審査

各カテゴリーに設定された審査基準・審査のポイントに基づき、
アドバイザーボードによる審査を実施します。

スケジュール（2026年・予定）



※時期は現時点の想定です。変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

エントリー方法

本アワードへのエントリーは、特設サイト上のオンラインフォームより、以下の2ステップで行います。

特設サイト：<https://art-business-meti.com/>



プレエントリー

締切：2026年8月26日（水）23:59

「エントリー」ボタンからプレエントリーを行い、エントリーシートをダウンロードします。



エントリーシート提出

締切：2026年9月9日（水）23:59

必要事項を記入したエントリーシートを、ご案内するフォームよりアップロードします。提出をもってエントリー完了となります。

留意事項

- ・ 各ステップで、締切日が異なりますので、ご注意ください。
- ・ まずはプレエントリーのご登録をお願いいたします。
- ・ プレエントリーいただいた企業担当者の方には、エントリー締切前にご連絡させていただく場合がございます。

アワード特典

受賞企業様とファイナリスト企業様（最終選考に残られた企業）への特典です。



受賞企業

- ✓ 授賞式での表彰、プレゼンテーション実施
- ✓ アワード特設サイトに社名・プロジェクト名を掲載
- ✓ 企業とアートのプレイヤーをつなぐデータベース「PLAYERS FILE」への掲載
- ✓ 経済産業省 事業報告書・アート政策ページへの掲載
- ✓ ART & BUSINESS CASEBOOK への掲載



ファイナリスト企業

- ✓ アワード特設サイトに社名・プロジェクト名を掲載
- ✓ 企業とアートのプレイヤーをつなぐデータベース「PLAYERS FILE」への掲載 ※
- ✓ 経済産業省 事業報告書・アート政策ページへの掲載
- ✓ ART & BUSINESS CASEBOOK への掲載 ※

※掲載は状況を勘案しご相談させていただく場合があります。